



学校だより 1月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

【た】くましく生きる人 【な】かよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>



みのたなくん

新様式での実施④と新施設

校長 酒井 浩明

新年明けましておめでとうございます

昨年は、コロナ禍の中、目まぐるしく変化する本校の教育活動へのご理解とご協力に対し、深く感謝を申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

この年始は、いつも以上に身近な自然や生活に目を向け、**気持を切り換えて、令和3年を新たな気持ちでお迎えのこと**と思います。

この冬季休業は、自粛期間ではありましたが、子どもたちは、どのように過ごされましたでしょうか。少しでも家族の絆を深められたり、日本の伝統文化に触れられたりしていればと思っています。

さて、昨年のごことではありますが、新しい取組や学校の様子を紹介させていただきます。

12月上旬実施の**5年生のわら草履づくり**は、**3密を避けるために教室数を2倍にし、保護者ボランティアを募集せず**に、**わら草履サポーターとPTA役員**の協力を得て行いました。サポーターの皆様のご協力と教室数を2倍にしたことで、**子どもたちもわからない時に聞きやすかったのか、例年よりも短時間で作成**することができました。

12月下旬には、**6年生が新様式で調理実習**を行いました。

何が新しいかという点、**3密を避けるために、学級を2つに分けて調理日をずら**しました。そして、自分が計画を立て、**材料と食器を家庭から用意し、自分一人ですべての調理を行い、自分自身で食べる**ようにしました。今回は、新しい取組で材料も調理方法もバラバラ（煮物、炒め物、焼き物など）だったため、担任は、教室で半数の子どもたちに別教科の指導を行い、調理実習する児童には、家庭科専科教員に加え、栄養職員が補助として入るようにして指導しました。一人調理なので、今までよりも集中して取り組む子どもの姿を見ることができました。

夏休み前から行っていた第一校舎西側トイレの改修工事が10月に終了しました。

学校の将来を見据え、**洋式便器と自動点灯・消灯だけでなく、1階のトイレは、バリアフリーの機能も充実**させてもらいました。**車いす等での利用だけでなく、ベビーチェアを付け、オストメイト対応**にもしてもらいました。地域の皆様には、ボランティア等でお越しの際に、ご覧いただければ幸いです。

10月から屋上の太陽光発電に加え、蓄電池の運用が始まりました。

横浜市が平成28年度から民間会社と共同で行っている**仮想の発電所**（バーチャルパワープラント）**構築事業の60校目の実施校**となったからです。

この事業は、**地域防災拠点に指定されている市内小中学校に蓄電池を設置し、平常時は、電力会社が電力供給の安定化に利用し、停電を伴う非常時には、屋上の太陽光発電と連携させて防災用電源として使用する取組**です。

変電室に20kWhの蓄電池が設置され、**停電時に連絡設備等に使う非常用のコンセントが利用**できるようになっています。



<東昇降口前のプリムラ>

